

## 1 学校経営方針

### 学校教育目標

- 《安心》・・・子どもたちが安心して学校生活を送ることで、全ての子どもたちがその可能性を最大限引き出せるよう子ども理解に基づいた適切な集団作りに努める。
- 《信頼》・・・「子どもたちは地域で育てる」をスローガンに子どもの活躍や課題はもちろんのこと、日常の生活についても積極的に情報発信するとともに、地域人材の活用を図ることで地域との垣根を取り除き、地域から信頼される学校をめざす。
- 《笑顔》・・・子ども同士、子どもと先生、先生同士、さらには保護者も交えたつながりを深めることにより、笑顔がいっぱいの学校づくりをめざす。

### 基本方針

◎学校教育目標に基づいためざす学校像を達成するため、以下のことに留意して教育活動を進めていく。

※様々な教育活動（授業や学校行事など）において、常に活動の目的を明確にしつつ、その目的の達成状況についての振り返りを大事にする。

※チーム田原の構築をめざすため、学年主任や部長が中心となりその業務の遂行及び進捗管理に努める。各担当は自分の役割を認識し、その業務を責任もって遂行するとともに同じ学年や部を一つのチームととらえお互いにフォローし合うことを大切にする。

#### (1) 確かな学力と進路指導の充実

- ・自ら課題を見つけ主体的に取り組むための基礎学力の定着を図る。
- ・GIGA スクール構想に基づき配布されたタブレット PC を十分活用し、個別最適化された学びの充実を図る。
- ・個別最適化された学びが孤立した学びにならないよう、探究的な学習や体験活動を通じ、子ども同士や他の人との協働的な学びについて調査・研究を深め、実践を進めていく。
- ・小学校からの系統性のあるキャリア教育の充実を図り、子ども一人ひとりが夢をもって自分に合った進路選択ができるような進路指導に努める。

#### (2) 豊かな心の育成と温かい人間関係作り

- ・人間関係作りの第一歩として挨拶の推進に取り組む。(つながり)
- ・様々な出会いを大切にし、様々な価値観や考え方のあることを知ることで、他の人への思いや入りの心の醸成を図る。
- ・道徳教育や人権教育の理念を大切にし、子ども自らがこれからの生き方について、しっかりと考えることができるよう取り組みを進めていく。

(様式)

(3) 生徒指導の充実

- ・生徒指導は子ども理解からとの考えのもと、日頃からの声掛けや観察を大切にし、問題行動等の適切な未然防止・早期対応に努める。
- ・子ども理解に向け、支援教育について研鑽を積み、これまでの常識にとらわれない理解に努める。
- ・適切な集団作りは、適切な子ども理解があつてこそできるのであつて、教える側の理想とする集団作りは時により子どもの成長をとめてしまうこともあることに留意する。
- ・生徒会活動や学校行事への積極的な参加を進め、リーダーの育成を図るとともに自主・奉仕・協調の精神を育てる。

(4) 健康管理・安全教育・食育の推進

- ・自らの体力を知り、生涯にわたって運動に親しみ、自ら健康を管理し、改善していく資質や能力を育成する。
- ・安全の大切さを認識させるとともに、自他の生命を尊重し、自ら進んで安全の保持に努める態度を養う。
- ・登下校時や学校生活、自然災害等における危機管理体制を確立し、安心・安全な学校体制の充実を図る。
- ・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けさせる。

(5) 学校・地域環境の整備

- ・美化意識の高揚と豊かな情操・奉仕の心をはぐくむ。
- ・施設設備や自然環境に対する愛護の精神を高め、公共心をはぐくむ。
- ・教育の場としての施設・設備の整備に努め、学習に適した環境づくりを進める。
- ・自分たちの生活する地域の環境に目を向け、素晴らしい環境を守り、育てる態度を養う。

## 2 めざす学校像、子ども像、教師像（中期目標）

### ★めざす子ども像

キャッチフレーズ《はなそう、つながろう、やってみよう》  
こども園、小学校、中学校とで連携して各学校の卒業時のめざす子ども像を、昨年度学校運営協議会でコミュニティ・スクールとしてのめざす子ども像とした。

《中学校》  
「はなそう」：大人にも子どもにも本音でしゃべれる子  
※自分の思いを相手の気持ちを尊重しつつ工夫して伝えられるように  
「つながろう」：誰とでも幅広く交友関係を持てる子  
※決まった相手だけでなく多くのつながりを持ち、結果全体としてまとまることのできるように  
「やってみよう」：失敗を恐れず自分で考えて行動できる子  
※結果に左右されず自分の興味関心に基づいて様々なことにチャレンジできるように

(様式)

<b>★めざす学校像</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 人権、個性が尊重され、一人ひとりが生き生きと活動できる学校</li><li>• 子どもたちが楽しく学び、確かな学力が身に付く学校</li><li>• 美しく学習環境が整った学校</li><li>• 地域に開かれた学校（コミュニティ・スクール）</li></ul>
<b>★めざす教師像</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>• 社会の情勢について注視し、生徒や学校における課題を見つけることができる教職員</li><li>• 課題を明確に把握し、常に情熱と使命感を持ち、チームを意識した職務遂行に当たる教職員</li><li>• 豊かな人間性と社会性を持ち、互いに協力し、温かみあふれる教職員</li><li>• 危機管理意識の高い教職員</li></ul>

### 3 学校の現状（よさと課題）

#### （１）子どもたちの実態

##### （良い面）

学びたいという気持ちが強く、授業にも前向きに取り組む生徒が多い。

授業態度もよく、ペア学習やグループ学習にも積極的に参加できる。

昨年度の取組みから様々な学校行事や学年行事において主体的に取り組む参加しようとする姿が見られる。

##### （課題）

学習面では、家庭学習で計画を立てて、自分一人で勉強することが苦手。

また、全てにおいて自分のことをきちんとする力のある生徒は多いが、全体としてはグループの中でリーダーとなって、人を仕切る力が弱い。

#### （２）子どもたちを取り巻く環境

##### ①教育環境

家庭環境的にはとても落ち着いているが、学力については格差が大きく、中間層よりやや下の層が多くなってきた。

教育熱心な保護者が多いが、意外と親子での親身な話し合いがなされず、過度な期待のプレッシャーに負けてしまう生徒もいる。

##### ②地域

一小一中で、９年間を見通した取組みができる反面、トラブル等で崩れた人間関係の修復は、狭い地域の中で困難なことも多い。

##### ③組織（教職員、PTA、保護者）

##### （教職員）

人数が少ないため、学年を超えてチームで連携をすることができる。授業力改善に向けての取組みは、とても進んできた。

ここ数年、教員の入れ替えが進み、新しい考えの提案もあり、今後、学校経営に変化がみられるように思う。新しい先進的な取組みに触れることで更なる飛躍をめざしたい。

##### （PTA、保護者）

教育熱心な家庭が多いため、教育活動に寄せる関心度は高い。

保護者の大部分は、学校の頑張りはしっかりと評価し、協力体制も安定している。

PTA 活動はとても協力的で、学校や地域の行事にも積極的に参加する人が多い。しかしながら、全体的にはコロナ禍により２年間活動がほとんどなくなったのを機に学校の教職員と顔を合わせた活動が減り、少しつながりが遠くなった感がある。

(様式)

#### 4 今年度の達成目標、具体的な方策

##### 目標設定区分1 『学校経営』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
①SAMRモデルに基づいた第3段階の授業展開を本校における授業改善の目標に置き、そのための取組を進めていく。 ②生徒会活動に加え、 <u>授業</u> においても取組みをすすめる、田原中校区のめざす子ども像の実現を図る。 ③支援教育の理念を大事にし、 <u>子ども理解</u> に基づいた学習支援及び生徒指導を進める。 ④ <u>キャリア教育</u> の視点で学校の教育活動を再構築することで、自己有用感の醸成を図る。		学習に関するアンケート 学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
①学習に関する生徒アンケート項目「学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え取り組んでいたと思いますか。」の肯定的回答	90%	現状 79% <u>先進的な取組みの学校を訪問し、学んだことを本校全教員で共有する。</u> 教科主任会を学力向上委員会と設定し、様々な手法による授業研究を展開する。 日常的な情報交換の推進 適時の短時間による打ち合わせの実施 様々な場面での授業研究の推進
①学習に関する教職員アンケート項目「タブレットPCを教具以上に活用した。」の肯定的回答	90%	現状 55% <u>先進的な取組みの学校を訪問し、学んだことを本校全教員で共有する。</u> ICT担当による教員向けの研修会の実施 日常的な情報交換の推進 適時の短時間による打ち合わせの実施 様々な場面での授業研究の推進
②学習に関する生徒アンケート項目「自分にはよいところがあると思う」の最肯定的回答 ②自己診断生徒アンケート項目「先生は生徒の意見を聞いてくれる。」の最肯定的回答	①50% ②80%	現状①36%②61% 子どもに対する挨拶の推進 生徒会活動の活性化 日常的な情報交換の推進 適時の短時間による打ち合わせの実施
③学習に関する生徒アンケート項目「学校に行くのは楽しい」の最肯定的回答 ③学習に関する教職員アンケート項目「支援教育の視点から指導上の工夫を行いましたか。」の最肯定的回答	①70% ②50%	現状①52% ②32% 通級指導教室の活性化 支援教育に関する教員向け研修及び外部講師を招いてのスクリーニングの実施 日常的な情報交換の推進 適時の短時間による打ち合わせの実施
④学習に関する生徒アンケート項目「将来の夢や目標を持っている。」の最肯定的回答 ④学習に関する生徒アンケート	①70% ②75%	現状①45% ②77% こ小中連携して、めざす子ども像を中心に据えた取組みの推進 ボランティア活動の導入

(様式)

ト項目「人の役に立つ人間になりたいと思う。」の最肯定的回答	地域人材や外部講師による学ぶ機会の増加
-------------------------------	---------------------

### 目標設定区分2 『学校組織の運営』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
チーム田原として、こ小中連携を軸としたコミュニティ・スクールを核とした学校組織の運営に取り組む。 それぞれ得意・不得意があり、得意なことはチーム田原のために活用し、不得意なことはみんなでカバーしていけるような環境づくりの構築と、その業務が膠着しないシステムの構築を図る。		学習に関するアンケート 学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
学習に関する教職員アンケート項目「学校の状況や課題に対し、全教職員で組織的に取り組んでいますか。」の最肯定的回答	95%	現状 87% 週1回の運営委員会の実施 週1回の小生指による情報共有の実施 職員会議や適時の情報提供 <u>先進的な取組みの学校を訪問し、学んだことを本校全教員で共有する。(再掲)</u>
自己診断教職員アンケート項目「日々の教育活動における課題や悩みについて気軽に相談し合える職場の人間関係ができています。」の最肯定的回答	50%	現状 14% 週1回の運営委員会の実施 週1回の小生指による情報共有の実施 日常的な情報共有の推進

### 目標設定区分3 『人の管理・育成』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
様々な教育活動における目的を常に意識した取り組みを推進し、その定着を図る。 あわせて、先進的な教育実践に触れることで教員としてのスキルアップを図る。		学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
学校自己診断アンケートの項目「本校は教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。」の最肯定的評価	50%	現状 18% 目的を意識した各活動の振り返りの実施 振り返りによる改善点の論議の推進 <u>先進的な取組みの学校を訪問し、学んだことを本校全教員で共有する。(再掲)</u>
学校自己診断アンケートの項目「職員会議をはじめ各種の会議が、情報交換や課題検討	50%	現状 14% 会議の時間設定及び内容の精選 決定事項の確認と記録の徹底

(様式)

の場として有効に機能している。」の最肯定的評価	そのための週 1 回の運営委員会の活用
-------------------------	---------------------

#### 目標設定区分4 『地域連携と渉外』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
コミュニティ・スクールとしての定着を図る。 PTA 活動や地域教育協議会の活動を通して 顔のわかる関係作りを進めることで地域の学 校としてのイメージの定着を進める。		具体的な活動内容の決定 地域の様々な団体との交流事業の実施 学校教育自己診断アンケート
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・活動の具体的な内容の決定 ・具体的活動への参加 ・学校自己診断アンケートの 項目「学校は保護者や地域の 人たちと話をする機会を設け ていますか。」の最肯定的評価	・計画書の作成 ・参加実績 8 割 ・50%	・田原中校区学校運営協議会による作成を先導する。 ・参加実績を記録するとともに都度の振り返りをして、 次回に活かすようにする。

「はなそう」大人にも子どもにも本音でしゃべれる子 「つながろう」誰とても幅広く交友関係をもてる子 「やってみよう」失敗を恐れず自分で考えて行動できる子

各分掌で具体的な取り組みを考え、皆で実践する

担当者任せでなく、**組織的に動く**

**皆で**子どもを育てる意識をもつ

★他の分掌の取組みを円滑に進めるための管理、統括

- ・年間指導計画の達成状況と実態の把握
- ・教育効果の検証、改善

★生徒会活動をとおりて、生徒の**自治能力**とリーダー育成

- ・学校に行けば仲間がいる楽しさ
- ・安心して意見を言える雰囲気
- ・社会性、コミュニケーション能力の育成

★新しい学力観に基づいた授業内容の研究及び実践

- ・認め合い、支え合う力
- ・自分の考えや意見を伝える力
- ・自分たちの成長を実感できる学び

★園に応じた**支援の充実**

- ・「わかる」「できる」安心
- ・一人ひとりが認められる場
- ・すべての教職員に見守られる安心感
- ・「個別最適な学び」の基盤

教務部

他

- ①教育課程編成、進捗管理
- ②時間割作成
- ③行事、会議調整
- ④公簿管理
- ⑤年度末総括

生徒指導・生徒会部

他

- ①生徒会活動の活性化
- ②生徒指導（予防的取組み/事後対応）
- ③長欠、不登校生徒の継続把握、手立ての有効性検証、新たな支援方策
- ④保健、安全、給食指導

学習指導部

他

- ①授業改善、学力向上の取組み
- ②ICT活用
- ③テスト、成績管理
- ④道徳、特活、総合の企画、内容整理
- ⑤進路指導、キャリア教育
- ⑥人権教育

支援教育部

他

- ①支援学級在籍生徒・通常学級在籍の支援を要する生徒の継続把握
- ②手立ての有効性検証
- ③新たな支援方策
- ④UDJに基づく環境整備
- ⑤支援教育の考え方の周知

小学校との連携が不可欠

学年会との連携が重要

共有

【子どもたちの現状・課題】（参考）R2直学校内研修より）挨拶ができる、礼儀正しい、まじめ、学習に前向き、決められたことをきちんとできる、ルールを守る、優しい、挨拶ができる、礼儀正しい、主体的に行動する力をつけてほしい、自分の行動に責任をもてるようになってほしい、コミュニケーション能力を高めさせたい、集団の力を高めさせたい、認め合える関係を築かせたい、気持ちもたくましくなってほしい 等